

科目名	英語Ⅲ	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 <input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群		
			学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	
			学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	
英文表記	English III	開講年次	■ 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年		
		開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中		
ふりがな	はんだ さちこ	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	半田 幸子	実施方法	■ 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	小説の読解を通して、日常生活で自然に話される口語表現を理解することができるようになる。また、物語の文脈や、その文化のおよび社会的背景を理解できるようになる。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. アメリカの日常生活でよく使われるイディオムや慣用表現などの口語表現。 2. 作品の主題および内容を理解し、英語で書かれた小説を作品として深く味わう能力。 3. 小説と映画作品での表現の仕方の違いに注目し、その違いを理解する力。				
授業概要	この授業では、前期および後期を通して、児童文学ながら大人の読者も魅了し世界で 29 の言語に翻訳され、2017 年には映画化もされた小説『Wonder ワンダー』（下記「参考文献・資料」1.）を読みます。この小説は小学校中・高学年向けの児童文学であり易しい文体です。登場人物 6 人の視点から一人称で書かれており、口語表現や日常的に使われる表現に加えて、それぞれの立場や個性による表現の違いを学ぶことができます。授業では、映像作品と小説の描かれ方の違いにも触れ、作品に対する理解を深めます。				
授業計画（以下の計画は、授業の進捗状況および受講者の学習状況によっては変更することがあります。）					
第 1 回	ガイダンス（授業概要説明）・作品鑑賞（前半）	第 17 回	前期のおさらい		
第 2 回	フィードバック・作品鑑賞（後半）	第 18 回	Wonder ⑩ Part Five: JUSTIN		
第 3 回	Wonder ① Part One: AUGUST	第 19 回	Wonder ⑪ Part Five: JUSTIN		
第 4 回	Wonder ② Part One: AUGUST	第 20 回	Wonder ⑫ Part Five: JUSTIN		
第 5 回	Wonder ③ Part One: AUGUST	第 21 回	小テスト ①（範囲：Wonder ⑩ - ⑫）		
第 6 回	小テスト ①（範囲：Wonder ① - ③）	第 22 回	Wonder ⑬ Part Six: AUGUST		
第 7 回	Wonder ④ Part Two: VIA	第 23 回	Wonder ⑭ Part Six: AUGUST		
第 8 回	Wonder ⑤ Part Two: VIA	第 24 回	Wonder ⑮ Part Seven: MIRANDA		
第 9 回	Wonder ⑥ Part Three: SUMMER	第 25 回	Wonder ⑯ Part Seven: MIRANDA		
第 10 回	小テスト ②（範囲：Wonder ④ - ⑨）	第 26 回	小テスト ②（範囲：Wonder ⑬ - ⑯）		
第 11 回	Wonder ⑦ Part Four: JACK	第 27 回	Wonder ⑰ Part Eight: AUGUST		
第 12 回	Wonder ⑧ Part Four: JACK	第 28 回	Wonder ⑱ Part Eight: AUGUST		
第 13 回	Wonder ⑨ Part Four: JACK	第 29 回	Wonder ⑲ Part Eight: AUGUST		
第 14 回	小テスト ③（範囲：Wonder ⑦ - ⑨）	第 30 回	小テスト ③（範囲：Wonder ⑰ - ⑲）		
第 15 回	おさらい	第 31 回	おさらい		
第 16 回	前期定期試験	第 32 回	後期定期試験		
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> 事前に配布する作品を読み、分からない単語があれば調べて内容を確認し、文法的に理解できない箇所がないか確認しておいてください。（1.5 時間程度） 授業後に、授業で取り組んだ作品を読み直し、不明点がなくなるようしっかりと復習してください。（1.5 時間程度） 日頃からできるだけ時間を作って、音楽、映画、テレビドラマ、ニュース、ラジオ、新聞、雑誌等で英語に触れるようにしてください。（毎日 0.5-1 時間程度） 				

履修条件 受講のルール	<p><受講上のルール></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、辞書（紙媒体・電子辞書どちらでも可）を持参してください。 ・スマートホンの翻訳アプリの使用やネット検索は認めません。 ・授業前の予習および授業後の復習の習慣を身につけてください。 ・授業中の私語など、周囲の迷惑になる行為は厳に謹んでください。 <p>※ 受講者人数に制限があり、実力テストを受験し、ガイダンス日に行われる抽選会への参加が必須です。ただし、抽選で外れてしまった場合も受講することができません。</p>
テキスト	授業中に資料を配布しますが、下記「参考文献・資料」の1.を購入しておくことをお勧めします。
参考文献・資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. R. J. Palacio. <i>Wonder</i>. Corgi Books, 2013 (First published as a hardback: The Bodley Head, 2012) 2. R. J. パラシオ『Wonder ワンダー』中井はるの訳、ぼるぷ出版、2015年 3. 映画『ワンダー君は太陽』（2017年） 4. 水野邦太郎監修『大学生になったら洋書を読もう』アルク、2010年。 <p>ほか、必要に応じて、適宜、授業の中で紹介します。</p>
成績評価の方法	<p>【授業への取り組み（40%）、小テスト（10%）、定期試験（50%）】</p> <p>上記評価項目をもとにして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・毎回の授業後に課すコメントシート提出の有無や内容の充実度は授業への取り組みの評価に含まれます。 ・授業の理解、および予習復習が十分であることを確認するため、学期ごとに3回の小テストを行います。 <p>※ 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<p>毎週月曜日・水曜日 15:00～</p> <p>※これ以外の時間・曜日は、事前に予約をとってください。</p>
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>英語Ⅲを履修する皆さんの多くは、もともと英語が好きな方だと思います。皆さんにとって、この授業での学びは、世界的ベストセラーという本物の英語の文学作品に触れる機会となり、高校で身につけた文法や語彙力を確認する場となるでしょう。加えて、作品の主題を深く理解することを目指して欲しいです。</p> <p>英語は実は苦手という皆さんは、一度、苦手という意識を取り払ってみましょう。まずは映画と小説を楽しみましょう。外国語習得には忍耐がつきものですが、好きであれば苦痛に感じません。好きになれば、日々学ぶ習慣が身につく、日々学ぶ習慣が身につけば、英語も自然に上達していきます。</p> <p>また、英語の授業は、語学力の向上に限ったものではありません。英語を学習することで言語の構造や文化的思考の違いを知ること、視野を広げる上でとても重要な学びです。ぜひ、心をオープンにして多角的な視点から英語を学びましょう。</p>